



発行者：鈴木DMライター事務所 代表 鈴木光治

〒553-0003

大阪市福島区福島4-6-2

吉川産業ビル 206号

電話（携帯）：080-2434-5395

メール：info@kyoukan-copy.com

URL：https://kyoukan-copy.com

D: どかんと
M: 儲けようよ♪

すずきDMライター通信

バカ バカ バカ バカ バカ

・・・こんなタイトルにしたので、また購読解除が増えそうだ・・・。何せ透明封筒からはこの部分しか見えないようにしているので・・・。

それにしても、フォントってこうして並べてみると、それぞれに個性があって面白いですよ。

フォント一つで文書の雰囲気が変わります。

左から代表的なフォント・・・明朝体、ゴシック体、ポップ体、江戸勘亭流、そして右端が行書体です。

お堅い文書には明朝体。読みやすさを重視するなら字体の太いゴシック体。何となく楽しい・面白い・ワクワク感を感じさせるのがポップ体、歌舞伎や古典芸能、千社札などで使われる寄席文字のような江戸勘亭流。（何だか、文字の向こう側では歌舞伎役者がにらみをきかせて”ば、ば~っ!”と、大見得を切っているような・・・）そして細筆で書いたような行書体。縦書きのお手紙などに良いですよ。

どんな文書を作るか、その雰囲気によって使い分けて下さいね。

とりあえず私、年配の方も読まれるだろうと考えた時は、読みやすさを考えて明朝体ではなく字体が太めで読みやすいゴシック体を使うようにしています。（ちなみにこのレターはゴシック体です。私は個人的にゴシック体の方が読みやすく好きなのでそうしています。人によっては明朝体の方がいいのかもしれませんが・・・）

実は、まだ全部読んでいません。

タイトルを見て、思わず買っちゃいました。・・・でもまだ4分の1ぐらいしか読んでいません。（「だったら、まだ紹介するな!」・・・まあ、そう言わないで下さいな）

どんなお話かというと、価格破壊が激しい理容（散髪屋さん）業界のお話です。

男性の方ならわかりますよね。ちなみに私、洗髪抜き1650円の店に通っています。

価格破壊の波に負けずに組合価格で頑張っている、東京は西新宿にある実在の理容室さんのお話だそうで。もちろん、経営は苦しいです。そんな中、月400名のお客さんで月商200万円のお店を、9年の年月をかけて月1020名のお客さん・月商601万円まで経営を成長させたお話です。（安売りしたわけではありませんよ。客単価は殆ど変わっていないどころか、上がっているでしょ）

さて9年間、どんな事を学んで実践して、ここまでお店を成長させたのでしょうか？

小さな会社・お店の経営者なら
そられるタイトルです



さかはらあつし 著
ダイヤモンド社刊
1620円(税込)

【鈴木DMライター事務所のロゴマーク】



鈴木DMライター事務所と
関わりのある全ての人が

招き猫ちゃんのように
人とお金を引き寄せて、
えびす様のようにニコニコと、
そして、ブタさんのように
まるまる豊かなビジネスと人生を。

【すずきDMライター通信】発行者



鈴木DMライター事務所
代表の鈴木光治です。

【代表プロフィール】

1966年山口県柳井市生まれ。
転勤族の家庭に生まれ、東は茨城県、西は長崎県と全国を転々。
近畿大学卒業後、大阪地元の堅実な機械メーカー等に勤務。主に経理の仕事で通算15年のサラリーマンを経て今日に至る。
東北での勤務が長かったせいか、時々、九州・東北そして関西弁が入り混じったおかしな日本語を話すことがあるようです。

D: どかんと
M: 儲けようよ♪

すずきDMライター通信

現在、提供を終了した
サービスに関する内容のため削除しました。

編集後記

何で、2月というのはあっという間に時間が過ぎるのでしょうか？

やっぱり2月は28日しかないですからかね。通常の月に比べて3日（2日）短いからでしょうか。

そういえば、会社勤めをしていた頃は、経理の仕事だったので、2月は特に忙しかったのです。25日の締めが終わったら、すぐに末の締めの仕事でしたから。

そういえば、確定申告もしなきゃいけないし・・・。

私、長い事経理の仕事をしてきた割には、こういうの苦手です、実は・・・（今の仕事はようやく見つけた天職かも？）

私と同じフリーランスの方、まだまだインフルエンザも流行っているようですし、体調を崩さぬように乗り切ってくださいね。

3月のちょっと変わった記念日

（私の独断で選んだ、ちょっと変わった記念日をご紹介します）

“バカは食わへん？” おいしいお菓子の日

3月4日 バウムクーヘンの日

（バウムクーヘン→→ばかは食わへん ←オヤジならではのシャレでした♪）

1919（大正8）年3月4日に広島県物産陳列館（のちの原爆ドーム）で行われたドイツ俘虜展示博物館で、ドイツ人のカール・ユーハイム氏がドイツの伝統菓子のバウムクーヘンを出品。これが日本におけるバウムクーヘンの始まりであることから、ユーハイム氏を創業者とする株式会社ユーハイム（神戸市）が制定。同社のバウムクーヘンはその「まっすぐなおいしさ」と「こだわりの技術と材料」によって多くのファンを獲得している。

すぐに役立つ366日記念日事典 創元社刊より

この本は、雑談や「販促キャンペーンをしたいけど、キャンペーンをする理由がない」時など、ネタに困っている時に活用できますよ。



【すずきDMライター通信】が不要の方は、大変お手数ですが、弊所ホームページ（<https://kyoukan-copy.com>）に、購読解除専用メールフォームを設けています。このメールフォームよりお知らせください。